

# 主題：雅歌に描写されているような勝利の生活

メッセージ 4

## 第二段階で勝利を得る (1)

復活の力と豊富によって十字架の生活をする

自己に打ち勝ち、神の栄光のためにからだを建造する

聖書：雅 2:8-14. マタイ 3:13-17. 21:32. 16:24

I. 主を追い求める者は、彼女の満足のためにキリストを追い求めることで幾らか成功した後、内省の中に落ち込み、それは彼女をキリストの臨在から離す壁としての隔離となります—雅 2:9：

A. 内省は、自己を見つめ分析することによって自己を試すことです。自己は内省で構成されます—参照、I コリント 4:3-4。

B. わたしたちはイエスを見つめなければなりません。わたしたちの自己は見つめる価値はありません—ヘブル 12:1-2 前半. ヨハネ 3:14-15. 12:31-32. 民 21:4-9：

1. 主を追い求める者は内省によって失望しますが、主は彼女を春に召しています—雅 2:10. 参照、ヘブル 3:7-8. ヨハネ 8:58。

2. 彼女が自分を見つめるとき、それは冬眠です。彼女は復活したキリストを見つめるとき、春の段階、復活の段階に入ります—雅 2:10-13。

II. わたしたちが自己から解放されるのは、十字架との一を通し、キリストの復活の力により、彼の交わりを通してです—14節：

A. キリストは彼を追い求める者、彼のはとが、絶えず十字架につけられた状態にとどまること、すなわち、「岩の裂け目、がけの隠れ場」、険しい場所の秘密としての彼の中にとどまることを願っています—14節. ガラテヤ 2:20。

B. わたしたちが十字架につけられることは、わたしたちの天然の命や力によるのではなく、復活の力により、山を飛び越え丘を飛び跳ねるキリスト、「暁の雌じか」によります—詩第 22 章のタイトル. 箴 4:18。

III. わたしたちは日ごとに死に、日ごとに自分の十字架を取り、キリストの死に同形化されなければなりません。それは、彼のからだのための彼の復活の力と豊富としてのその霊によります—I コリント 15:31, 36. ルカ 9:23. ピリピ 3:10. 参照、ホセア 6:1-3：

A. わたしたちは時代のビジョンと務めの中に入ることによって義の道を取り、自分がただ死と葬りにふさわしいことを認識しなければなりません。それは開かれた天、神の降臨する霊、御父の語りかけを享受するためです—マタイ 3:13-17. 21:32. 参照、エゼキエル 3:1-3。

B. わたしたちはキリストの尊い死とその甘い効果、キリストの尊い復活とキリストにある撃退する力を、召会生活のための複合の霊として享受しなければなりません—出 30:23-25. ローマ 14:17-18. 参照、ピリピ 1:19-21. 2:13. 3:10. 4:11-13。

C. わたしたちは十字架を取り上げなければなりません。それは神のみこころを取り上げる手段です。十字架は神のみこころであり、神のみこころはわたしたちの食物です—マタイ 26:39. ヘブル 10:5-10. ヨハネ 4:34：

1. 一つの召会は神のみこころであり、召会のすべての兄弟姉妹は神のみこころです。ですから、十字架を負うことは召会を負うことであり、聖徒たちのすべてを負って純粋な一を持つことです—エペソ 4:1-3. I コリント 1:10. ピリピ 2:2。

2. 神聖な栄光の中の一が実現するのは、自己が完全に否まれ、わたしたちがからだ

- 中心になり、自己中心にならないときです——ヨハネ17:21-23. I コリント12:24-25.
3. わたしたちの外側の環境における神のみことろと、内側の存在におけるイエスの殺しとしての十字架は、共に働いてわたしたちの天然の人を殺し、わたしたちを復活の神をもって再構築します——II コリント 4:10-12. 12:7-10. 13:3-4.
4. からだのために十字架を取り上げることは、キリストの平和にわたしたちの心を裁定させ、わたしたちの命としての赦す主を受け、主の信者たちを受け入れ、分裂をひき起こし死を拵げる者たちから遠ざかることです——コロサイ 3:12-15. 箴 25:15, 20, 26. ローマ 15:7. 16:17. 民 6:6-7. レビ 5:2.
- D. わたしたちは、命を与える霊としての十字架につけられ復活したキリストを享受し、召会生活におけるすべての問題の解決としなければなりません——I コリント 1:9. 2:2. 15:45 後半, 58.
- E. わたしたちは、命の木としての十字架につけられ復活したキリストを食べて、彼を日ごとの「抗生物質」としなければなりません ——啓2:7. I ペテロ2:24. 3:18. ヨハネ6:57.
- F. わたしたちは、小麦の地としての十字架につけられ制限されたイエスと、大麦の地としての復活した無制限のキリストを享受しなければなりません——申 8:8. ヨハネ 12:24. 6:9.
- G. わたしたちは、霊の岩としての十字架につけられたキリストを享受しなければなりません。それは彼を飲み、復活における命の水としての、わたしたちを聖所の咎から救う彼を流し出すことによります——I コリント 10:4. ヨハネ 19:34. 出 17:6. 民 20:8. 18:1. エレミヤ 2:13. ヨハネ 7:37-39. エゼキエル 47:1. 啓 22:1.
- H. わたしたちは十字架につけられ復活したキリストを、わたしたちの住まい、隠れ場、いと高き方の秘密の場所としなければなりません——雅 2:14. 詩 90:1. 91:1. 31:20. 83:3. イザヤ 32:2. 出 33:22. 参照、マタイ 6:6. ヨハネ 14:23.
- I. わたしたちは混在した複雑な状況のただ中で、神に信頼する純粋で単純な生活を必要があります——雅 2:2. 列王上 7:17-20. マタイ 6:28.
- J. わたしたちは絶えず霊を活用して自己を否まなければなりません。自己はサタンの具体化であり、神からの独立を宣言する魂です——ローマ 1:9. マタイ 16:22-24.
- K. わたしたちは主イエスの模範に従わなければなりません。彼は十字架につけられた生活をして神聖な命を表現し、神聖な属性を彼の人性の美德として生かし出しました。内在的にわたしたちの原型としての彼に従うことは、わたしたちの体の中に、キリストの恵みによってイエスの枝を担うことです——ヨハネ 5:30. I ペテロ 2:21. ガラテヤ 6:17-18.
- L. わたしたちは神の栄光のために神の霊によって仕え、自己に信頼してはなりません——ピリピ 3:3. I テサロニケ 3:13. II コリント 4:5. I コリント 10:31. 参照、箴 25:28. 28:25-26. 29:23.
- M. わたしたちは十字架につけられたキリストのビジョンを見て、キリストの十字架をわたしたちの苦い状況と苦い存在に適用し、復活したキリストをわたしたちのいやし主、またいやす力として享受しなければなりません——出 15:22-27. I ペテロ 2:24. 啓 2:7. マタイ 9:12.
- N. わたしたちは、殺し復活させる命の霊の法則に「スイッチを入れ」、自分を継続的な主との接触の中に保ち、神聖なエコノミーのための神聖な分与の中にとどまらなければなりません——ローマ 8:2, 10, 6, 11, 13.